

愛媛縣ニ於ケルひがんばなノ異稱一覽、並ニ二三ノ異稱ノ命名意識ニ對スル臆測

○愛媛縣ニ於ケルひがんばなノ異稱一覽、並ニ二三ノ異稱ノ命名意識 ニ對スル臆測

伊豫周桑郡壬生川町 杉山正世

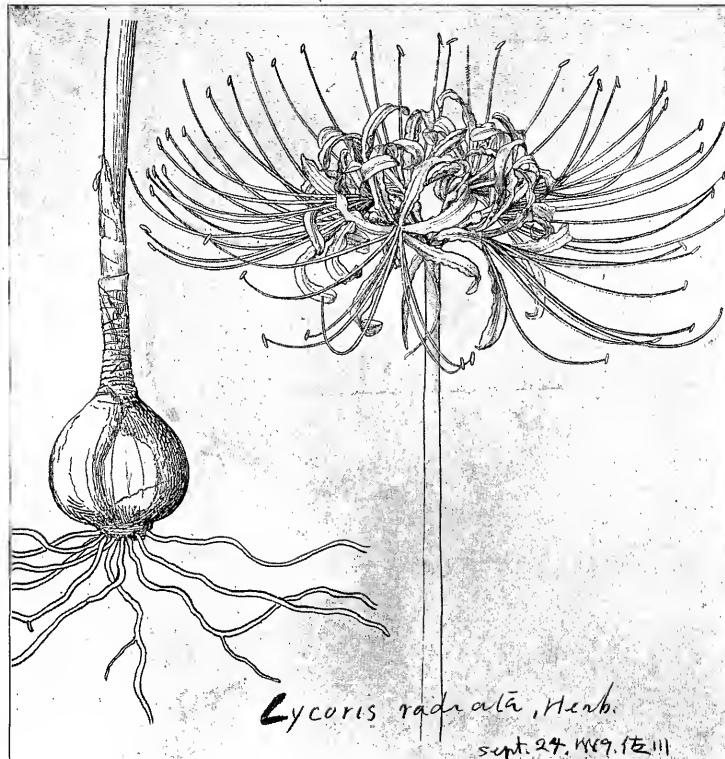
頃日私ノ編輯セル『いよのことば』第一輯（昭和六年十一月十日印刷）ニ登載シタ「愛媛縣に於けるひがんばなの異稱」ノ中ニ在ル下ノ二項ヲ此植物研究雑誌編輯者ノ希望ニ任セ茲ニ掲グル事ニシタ、本植物ヲ研究セラル、御方ノ御参考ニナレバ幸甚デアル

○愛媛縣ニ於ケルひがんばなノ異稱一覽

○ハ周桑郡ニアルモノ ×ハ周桑郡外ニアルモノ

10 9 8 7 6 5 4 3 2 1	えんこばな おちょーちゃんばらこ おひがんばな あいらんばな あればな ありばな あればな あればな あればな あればな	
20 19 18 17 16 15 14 13 12 11	きちきちばな きちきちぼーし きちきちぼーず じじんこ じじんこばな じやじやばな じゆーとんばな じゆーとんばら	
30 29 28 27 26 25 24 23 22 21	すずばな じょろばな じよじよばな じゆーとんばな じゆーとんばら	
40 39 38 37 36 35 34 33 32 31	ちんちろりん ちんりろりん ちんりろりん ちんりろりん ちんりろりん ちよーちゃんばな ちよーちゃんばら	
ひのばのばのね×どくほーせんこ	ばつちりこ こばな こばな こばな こばな こばな こばな こばな こばな こばな	

「愛媛縣に於けるひがんばなの異稱」
「於ける」は「ひがんばな」の「ひがんばな」を指す。



ひがんばな (*Lycoris radiata* HEBB.)

(明治廿二年九月廿四日郷里士佐佐川町ニテ寫生セシ牧野富太郎原圖、縮小)

(編輯者插入)

59 58 57 56 55 54 53 52 51 50 49 48 47 46 45 44 43 42 41

な ら く こ そ ば は ま し そ ば ま し そ ば ま し

60

な
ん

二九

ん
?

ば

Digitized by srujanika@gmail.com

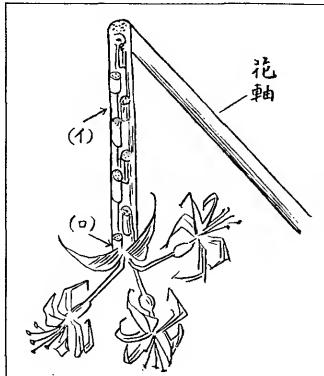
愛媛縣ニ於ケルひがんばなノ異稱一覽並ニ二三ノ異稱ノ命名意識ニ對スル臆測

○二三ノ異稱ノ命名意識ニ對スル臆測

じゆずばな、おりばな、ちよーちゃんばなノ稱呼ハドコニ緣由ヲ持ツモノカ、アマリハツキリハ推定シ得ナイガ
 ちよーちゃんばなノ稱ハ次圖ニ示シテアルヤウナ童戲カラ生レタモノデアルラシイ點ヲ思ヒ合セルトじゆずばな
 ノ稱ハソノちょーちゃんノ製作過程デ副次的ニ作リ出サレタ圖中ノ(イ)部分ガ珠數ト見立テラレタモノデハアル
 マイカ、コノ花ノ咲キ出デル時ガ陰曆デ孟蘭盆頃カラノ年モアツテノ故カぼんばな（廣島縣比婆郡庄原町デハ
 ぼにばな——益本淺夫氏）ト呼バレ又秋ノ彼岸前後ニハ戴カゲトイハズ流ノホトリトイハズコノ花ノ紅デ彩ラ
 レルタメデアラウひがんばなト呼バレ或ハそれんばな（葬式ノコトヲ當地ニテそーれんトイフ）、ほときさん
 ばなナドト佛事ニ聯想ノ綾ガカケラレルコトガ多クちよーちゃんばなノちょーちゃんトイフ見立テモ葬儀用ノ飾提
 灯ニカ、ハリガアリサウニ思フ時コノ部分ガ珠數ト想定サレルコトモアナガチアリ得ヌコトデハアルマイ（徳
 田村古田デハ圖ノヤウニ拵ヘタ提灯ヲ持ツテ「ちよーちゃん　ぼんぼら」あかどーえまいりましょ」ト唄ヒ
 ナガラ遊ブト）おりばなトイフノモツマリハ(イ)部

作り方

(ロ)ノ部分ヲ一センチ程二
 ツニ裂キ次ニ一方ニハ花軸
 ノ體ヲ、他方ニハ表皮ヲ交
 互ニ一センチ位ヅ、残スヤ
 ウニシテ裂キ七一一八センチ
 位ニ至ツテ終ル



タゞ氣ニナルノハ 24 すずばな（宇摩郡天満村）ガ
 すずばなノハタシテ清音化デアルカ否カヲ決定スル
 資料ヲ持チ合サナイコトデアル、シカシすずばな系
 統ノ稱呼ガ今私ノ手元ニアル資料ニアツテ周桑郡カ
 ラ東ヘ伸ビテ香川縣ノ豊濱町ニマデ及ンデ居ルノデ
 多分ノ危險ヲ思ヒナガラモコノすずばなモ今ハじゆ
 ずばなノ系統中ニ含マセテオク

どくばな ノ稱呼ヲ考ヘルニアタリ私ハ「日本百科大辭典」ノ次ノ記事ヲ引用シタイ

此草の鱗莖は有毒にして、リコリン(Lycorin)と稱するアルカロイドを含有す、これを食へば吐瀉することあり。故に漢方醫はこれを吐剤に代用せしことあり。されど荒歳には賤民これをよく水飛し、「くず」(葛)の根より澱粉を取ると同法によりて澱粉を探り、團子等として食用に供す。然れども其製法粗なれば毒分を存し、害を受くることあり、又九州にても、凶年に窮民此外皮を取り、搗き碎き、これを席箱の中に入れ、水を汲み入れ水、席より洩れ出で滅すれば又水を汲み入れ、かくすること數日にして毒分を去り、これを固めて鍋にて焼き食ふ、味稍々佳なりと云ふ。

試ニ當地二三ノ老人ニ尋ネテミタトコロ「アナ、エグ、イモンガ食ベラレマスカイ、花ヲ折ッタテ、ヨイヨクサインジャケン・ソヤケンドアノ球ヲ水デサラシテソレヲ粉ニシタモンヲ米ニマゼテ食ベタラ食ベラレルサウナガサアドウジャロウカ」ト誰モガ云フノデアツタ、併シコレダケノ事實デモサウシタコトヲ知ツテキルモノガマダ當地方ニモ殘ツテキルコトノ證トハナラフ

トモカクモどくばなノ稱ハ周桑郡内ニカナリアマネク行ハレテキル、ケレドモソノ全部ガ所謂「毒」ヲ意識シテキルモノト見ルヨリモげどばなト呼ブ地方モアルヤウニコノ花ノ中ニ見ルカラノ毒々シサヲ他ニシテ清楚トカ優艶ナドトモイハレルヤウナ心ヲヒカレルヤウナ氣品ヲ見出ストガデキナイノデ「げどされ(馬鹿奴)」乙んなげどガ(コノ馬鹿ガ)ノヤウナ氣持デ「げどばな(14)」ト呼ンダモノデアラウガソレト同ジヤウナ氣分デどくばなト罵リ捨テタノデアラウ

えんこばな ハカノえんこ(河童)ヲ思ヒ合セテキハスマイカ、えんこニ對シテ抱クヤウナ警戒ト畏怖、ソレハ人ノホトリデ見返ル人ヲ待チ顔ニ陽ニ映エテ咲イテキルコノ花ニ見出サレル不安サトシテアマリニ突飛デアルト一概ニ云ヒ棄テモナルマイ

愛媛縣ニ於ケルひがんばなノ異解一覽並ニ二三ノ異解ノ命名意識ニ對スル臆測

カウシタ考へ方デ行クトマダ充分ニ安心ハ得テキナイノダガねこばな⁽³⁶⁾モ真赤二人目ヲ射テキルコノ花ガサ
テ庭ニ植エルニシテモ床ノ花瓶ニ挿スニシテモ思ヒツキニクイクハセモノデアルトコロニテ老猫ヲ想ヒ
出サセテキル點、又ゆ一れんばな⁽⁵⁹⁾モゆ一れん（幽靈）ト呼ブトコロ共ニコノどくばなノ一系ニ含マセテイ、
モノカトモ思フノデアル

ほぜばな
ノ一系ハカナリ興味ノアル稱呼デアル、私ハマダ實際ニ試ミテハキナイガ知友渡邊盛義氏ノ語ルト
ヨロニヨレバコノ植物ノ球根ヲツブシタ折ニ出ル液汁ニ觸レルトカノ里芋ヤ山芋ノ粘液ニ觸レタ時ノヤウナカ
ユサヲ覺エルトノコトデアル
コ、デ考ヘ合サレルコトハ灸ヲ施シタソノ痕ガカタマリ始メタ頃ノ刺スヤウナカ、ユサヲ里人ハほぜるトイフ言
葉デ言ヒ表ハシテキルコトデアル、カクテ前記ノカユサカラコノカユサガ比較サレテほぜのはなノ稱呼ヲ生ジ
順次ニほぜばな、ほぜノ一系ガデキタ考ヘルコトモデキハセヌカト思フノデアル（ほぜるトイフ動詞ガほぜ
のはなノほぜノヤウナ名詞形ニ變ルニハソノ移動ヲ想ハセル他ノ實例ヲ二三發見セネバ安心シテコノ兩語ヲ因
果ヅケラレナイワケデアルガ今ノ私ハマダソノ資料ヲ持タナイ）「當地ニほぜくらい、やまほぜト云フ語ガアル
何レモ山人ヲ罵リ嘲ツテ云フノデアルガ前者ニハ此ノ草ノ球根ヲ食用ニシタトイフコトノ名残ラシイモノガ感
ジラレル、無論山人ハ玉蜀黍ヲ常食又ハ代用食ニスルトイフコトハ信ジテキテモコノ草ヲ食ツテキルトイフ事
實ガアルトカ、アツタトカ信ジテカク云フノデハナイカ」
コノ想像ヲ推シ進メルトキひぜん、ひぜんばなハソノ土地ノ人々ニ尋ネテモミナイガ疥癬ニ縁ガアラウカト思
ハレル即チ前ニ記シタヤウナ事情デ覺エル執拗ナカユサカラ疥癬ノカユサヲ聯想シテひぜんばなト呼ビひぜん
ト更ニ短縮サレタモノデアラウ、マタかぶれのはな、かぶればなノかぶれモ前記ノヤウナ事情デカブレルガ故
ニ呼バレルモノカト思フ

【牧野曰フ】私ハ土佐國高岡郡佐川町ノ生レデスガ此私ノ郷里デハひがんばな即チまんじゅしゃげノコトヲし
一れート呼ビマス或ハしれート縮メテ云フコトモアツタカト思ヒマス是レハ死靈カラ來タ名デハナイカト想
像セラレマス此草ハ能ク墓場ナドヘモ生エテキルカラ其ンナ名ガアルデショ一、又同國高岡郡仁井田村、同
幡多郡山田村、同吾川郡名野川村デハ共ニほゼト稱スル、土佐ノ國デハ明治年間頃處ニヨリ其球根ヲ農家デ
食用ニシテキマシタガ今日デモ僻陬ノ山間デハ尙其風ガ存シテキル思ヒマス、私ガ私ノ國カラ出タ彼ノ蜜
柑ノ専門家デアル田村利親君カラ曾テ聽イタニハ同君ノ郷里長岡郡新改村ノ或ル一農家デバ家ガ頗ル貧シイ
ノデ頻リト此球根ヲ堀リ來ツテ年々之レヲ食シ爲メニ大ニ米麥ヲ食ヒ延ベタト云フ事デアツタ又明治十何
年ト云フ頃私ハ高岡郡鳥形山ニ植物ノ採集ニ行ツタ事ガアツタガ其山下ノ長者村字泉チヤウザテ一農家ノ傍ラノ水ノ
落チキル處ニ其球根ヲ搗キ碎イテ布ノ袋ニ容レ晒シテアツタ事ヲ見受ケタ事ガアツタ

小野蘭山ノ『本草綱目啓蒙』ニハひがんばな即チ石蒜ニ就テ澤山ナ諸國ノ方言ガ列記シテアルカラ今参考ノ
爲メ下ニ之レヲ抜キ書キシテ見ヨウ、ソシテまんじゅしゃげノ語原等ニ就テ同書ニハ「翻譯名義集ニ曼珠砂
此ニ朱華ト云俗ニマンシエシャケト云ハ此ニ據ナルベシ又小兒コレヲ玩ベバ言語謳シ故ニシタコヂケト名ヅ
ク」ト出テキル、今右書所載ノ方言ヲ五十音ノ順ニ列記スレバ左ノ通リデアル

イチャニヨロリ 豫州今治	イツトキバナ 防州	ウシノニンニク 江州	ウシモメラ 石州
ウシオビ 濃州	オホスガナ 熊野	オホキヰ 能野	カラスノマクラ
カハカンジ 駿州	キツネノイモ 京下久世	キツネバナ 備前	キツネノタイマツ 越前
キツネノシリヌグヒ 越前	サツマ不vana 豊州	キツネノアフギ 濃州	クハエンサウ 仙臺
ケナシイモ	シビトバナ 京	シタカリバナ 豊州松坂	シビレバナ 播州赤穂
シタマガリ 江州	シタコジケ 和州	ジユズバナ 豫州	

愛媛縣ニ於ケルひがんばなノ異稱一覽、並ニ二三ノ異稱ノ命名意識ニ對スル臆測

紀州ニ生エタぐんばいひるがほ

○紀州ニ生エタぐんばいひるがほ

和歌山縣新宮高等女學校

太田馬太郎